

経済建設常任委員会報告



ていた公共下水道の構造の技術上の基準及び終末処理場の維持管理に関する基準について、下水道法施行令を参酌（さんしゃく）して定める旨の改正がなされたため、本条例を制定するものであります。

問 基準等に変更があったから条例制定をするのか。

今期12月定例会において、経済建設常任委員会に付託されました案件は3件であります。その主な案件と審議の経過と結果については次のとおりです。

議案第76号 阿蘇市公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例の制定について

補足 本件は、地域主権一括法の施行に伴い、これまで国で定められ

このような審議を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定致しました。

議案第78号 平成24年度阿蘇市一般会計補正予算について

建設課所管分

意見 災害査定を終え、今回の補正予算は減額補正が主であるという説明であったが、道路橋梁債は増えている。

答 市債は道路橋梁債が3億7800万円増えていきます。これは主に橋梁分で、山田橋と鷲の石橋の改良工事分です。何回も国の方に要望して、事前協議が功を奏し、採択されたものです。

問 国の補助金はどれ位あるのか。激甚の

対象にはならなかったのか。

答 災害全体は激特です。激特の場合、国の補助率が何パーセントになるか、まだはつきりしないことから、今のところ75%で予算計上をしています。

問 巷（ちまた）の話では98%位あると聞いているが。

答 災害に関する本を見る限りでは、83%というのが一番高かったと書いてあります。公共災害が83%、農業災害は90数パーセントということ、災害の事業によって補助率が異なります。

問 山田橋、鷲の石橋。後の2か所の橋はどうなっているのか。

答 後の2か所の橋は、西浜橋と黒流橋です。黒流橋については幅員が3・2m位しかありませんでしたが、4・5mまで出来ると

いう事で採択を頂きました。西浜橋についても道路の狭い方の幅員に合わせられるという事で、結局は橋の幅員が広くなります。

また、鷲の石橋は歪（いびつ）な感じの交差点であることから、道路改良と併せて復旧する考えです。山田橋については、歩道まで付けたところで橋梁を拡張するよう進めています。

問 道路新設改良費に測量設計業務委託料300万円が組まれているが、これはどういうものか。

答 これは宝泉浜川1号線のことです。

スーパードバイパスから浜川に行く道が通学道路で交通量が多く危険なので、宮原から浜川に入った所から、成川から来る道までを拡幅するものです。もう一つは、浜川の村中に入る部分がありますが、両方がコンクリートブロックで視界が悪いの



改修中の鷲の石橋

で、今回、委託料を組んで、来年度にやりたいと思っています。

問 河川等災害復旧費について、先ほどの補足説明で現年補助災害復旧工事は119ヶ所と言われたが、予算措置はまだしてないのか。

答 単独災は450ヶ所程ありますが、まだ半分くらいしか終わっていません。残りについては専決処分で予算を組んでいます。

問 河川等災害復旧費の工事請負費、その中の現年補助災害復旧工事・橋梁本災が5億9千6百万円減額になっているが、減額の理由は何か。

答 橋梁は『橋梁本災』と『橋梁等改良』で組んでおり、橋梁等改良の災害関連工事は増えましたが、橋梁本災については全体的な見込み額を高く設定していました。

問 山田は橋が二つ落ちたが、鷺の石橋の

幅員はどのくらいか。

答 5・5m位です。

問 鷺の石橋は、今は仮道路があるが、山田橋はどのようにするのか。山田橋が本通りなので、急いでもらえないか。

答 山田橋にも仮橋を造ります。4橋とも工事請負業者は決まっていますので、本格的には1月末からになると思います。

意見 入札も終わっているのであれば、工事施工業者の情報を地元

答 地域にとつては非常に関心の高い工事でありますので、今後看板などを早く設置して、区長さん宅を回っていたようにさせたいと思います。それぞれの業者は、黒流橋が山内工業、鷺の石橋が亀井建設、山田橋が熊阿建設、西浜橋が江藤建設です。

問 今度の災害で建設課・農政課の職員は大変な苦勞をされています。

るが、河川改修や河川に堆積した土砂の撤去は、大体いつ頃までに終わらせるか。

答 河川については災害復旧で、ある程度の土砂は取っています。今後の計画としては、交通止めをしている道路を復旧して、それから河川に移っていく考えです。河川は6、7月の梅雨時は工事ができないことから、危険のないような状態にしておき、橋梁4橋以外の道路と河川を、平成26年3月位までに終わらせたいと思っています。

意見 河川の土砂はコンボで片づけているが、擁壁やブロック等が川に倒れて、そのままになっている。堤防が氾濫して二次災害が起こればいけないか。豆札川など危険な場所を早急にお願したい。

答 豆札川については工事施工伺いを決裁中です。そういう所を早急にやっています。

問 古神橋は今回の豪雨で堤防から水が溢れ、河川の南側は道路が陥没して通行止めになっている。改修はどうするのか。

答 古神橋から上流は、県が砂防事業でやるということです。道路については災害復旧事業で阿蘇市がやります。道路分については工事施行伺いの決裁を回しているもので、やがて財政課の方で入札が行われます。

問 阿蘇市の道路改修のことは分かったが、県の砂防事業は進んでいるのか。

答 古神橋の上流は、県が砂防事業でやると聞いていますが、具体的にどのようになっているかについては、今後、煮詰めていかなければなりません。

意見 役犬原の道尻村中線は道尻集落もほぼ合意が出来るようなので、市の方からも県に強く道路の拡張を求めている。

答 それも合わせて、やっています。

商工観光課所管分

問 商工振興費に組んである地域づくりチャレンジ推進事業補助金について、事業主体である内牧繁栄会の取り組みを説明してもらいたい。

答 平成23年度に立ち上げられ、この会には30軒ほどの商店が入っております。集客がある所をもう1回立て直そうということ

意見 自主的な立ち上げで、正式名称は内牧温泉街繁栄会と言います。会は、自主的な立ち上げでした。

意見 自主的な立ち上げということで、近隣に住む住民として大いに期待している。

答 統一看板で、同じような看板が出来つつあります。これからいろんな取組をなされようとしています。最初に取りかかりとしては、ボランティア

フェスティバル時に商店街がタイアップして、お互いで人を誘導し合う展開がなされました。

問 観光振興費の地域振興型イベント補助金が200万円減額されている。イベントが災害で中止になったためとのことだが、中止になったイベントを教

答 一番大きなものは火の山祭りです。

意見 観光振興費の教育旅行誘致ガイドブック制作事業補助金が200万円組まれているが、内容に草原、火口、田園風景等、阿蘇の自然を盛り込んでいただきたい。

答 日本国内の小中学校の97%は修学旅行があるそうで、修学旅行の海外組や、関西方面に行っている東日本の学校を阿蘇に持つてくる活動を進めています。

農政課所管分

問 農業振興費の環

環境保全型農業直接支払事業費補助金について、説明を求める。また、農地費の農地・水保全管理支交付金事業補助金は、何故42%に落ち込んだのか。それと、畜産振興総合対策事業費の阿蘇あか牛草原再生事業補助金は、120頭分が97頭しか申し込みがなかったから減額するのか、以上の3点について説明を求める。

答 環境保全型農業直接支払事業は、『カモ米等の有機米』と『大豆・サトイモの無農薬栽培』が対象となります。また、農地・水保全管理支交付金事業は今年から始まった向上活動であり、これまでの共同活動は溝さらい等の簡単な補修までしかできませんでしたが、大がかりな工事もあるという事で、予算措置をしたところ、各自治体の営農組織の参加が多くなった関係で、国の予算枠が尽き

てしまい、42%の配分しか受けられなくなり、また、それから、阿蘇あか牛草原再生事業については、120頭の申し込みがあつていましたが、やはり県の予算枠の関係で減額になったところです。

問 農業振興費の阿蘇市農業生産復旧支援事業補助金は、ハウスの施設に補助することだが、何件位あるのか。

答 ハウス施設は23件です。事業費1400万円の内、市の持ち出しは270万円です。それから、ハウスの付帯施設は56件あり、事業費が1億1600万円、市の負担は2220万円となります。

問 トマト循環施設導入補助金として168万円が組まれているが、何戸分の予算が組まれているのか。

答 7戸の農家で1・3ha程度の面積分です。総事業費は389万9千円で、県が3

分の1の補助、市が6分の1、合わせて税抜きの2分の1が補助されます。

問 農業振興費の熊本6次産業化総合対策事業補助金は、赤ど漬をお茶漬け用に商品開発したこと、事業費の2分の1を補助することだが、これは機械の購入費なのか。

答 市場調査、パッケージ製作、それと流通開拓のソフト面の経費です。

問 阿蘇市農業生産復旧支援事業補助金には、農業関係・機械農具等が組まれているが、全体で農家戸数は何件あるのか。本年度の予算であれば来年3月31日までに、畜舎な

どの建設を終わらせなければいけないのか。

答 事業数は223件で、農家数は99戸です。これからのスケジュールは、県の方から内示を頂いています。国の方の決定があつておりません。おそらく年明けに国の交付決定があるかと思いますが、国の内示があり次第、施行して行きたいと思えます。建物については、内示がないことには取り掛かれないので、繰越ができるのか確認します。

伴う歳出予算の減額調整であったことから、特に質疑・意見もなく、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。



トマトハウス

議案第79号 平成24年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算について

今回の補正予算につきましては、事業の精算処理に伴い、歳入の起債を減額し、それに

このような審議を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定致しました。